

令和4年度 第3回理事会議事録

令和5年2月8日（水）午後7時00分、東京都港区赤坂一丁目2番2号に所在する日本財団ビル4階及びオンラインにおいて、理事会を開催した。本理事会はWeb会議システムを利用して開催されたため、出席者の映像と音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状況であることを確認した。そして、議長は、次のとおり定足数にたる理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数	14名
本日の出席理事数	13名
監事総数	2名
本日の出席監事数	0名

出席者理事：坂井一也、藤岡明美、富岡成一、白石三重子、井上憲俊、時耕佐知子、鹿島沙奈絵、大野洋平、小黒修、山本道雄、石堂典秀、伊藤博之、宮林浩

なお、時耕佐知子を除く役員は、Web会議システムを利用して出席した。

第1号議案 役員改選について

議長は、役員任期満了に伴い、日本知的障がい者卓球連盟および日本ろうあ者卓球協会の任期に合わせるため、任期を1年とすることを提案した。その賛否を諮ったところ、満場一致をもってこれを賛成した。

第2号議案 令和5年度コーチ・スタッフ等設置事業について

議長より、令和4年度専任スタッフ等設置について、ハイパフォーマンスディレクター宮崎氏・ナショナルヘッドコーチ羽生氏・ナショナルチームコーチ森菌氏および野中氏・情報科学スタッフ森田氏、強化アドバイザー新井氏についての報告があった。

続いて、令和5年度専任スタッフ等設置について、ハイパフォーマンスディレクター宮崎氏・ナショナルヘッドコーチ羽生氏・ナショナルチームコーチ森菌氏および

山本氏・情報科学スタッフ森田氏の推薦について説明があった。

令和5年度より、パーソナルコーチ（令和4年度NT強化選手母体コーチ）の推薦についても説明があった。また令和5年度については、強化アドバイザーの設置はせず、状況によって招集する体制の提案があった。

令和4年度ナショナルコーチ（野中氏）任期満了についての経緯、令和5年度ナショナルコーチの推薦（山本氏）についての説明を行った。

若干の質疑応答の後、議長がこれらの承認を求めたところ、別段の異議なく、これを承認した。議長は、可決された旨を宣した。

第3号議案 令和5年度事業計画（案）について

事務局より、令和5年度の事業計画（案）について別途資料の説明を行った。事業計画案をもとに、パラサポ助成および競技力向上事業等の申請を進めることについて提案した。

6月に実施予定である新規大会についての実施内容、運営について協議を行った。これらの承認を求めたところ、別段の異議なくこれを承認した。議長は、可決された旨を宣した。

第1号報告事項 第43回全日本オープンパラ卓球選手権大会について

国内大会委員会より、大会実施に向けて1月4日に行った打ち合わせ内容、申請手続き、兵庫県卓球協会の協力体制について、進捗状況を報告した。今後の進捗状況については、事務局より情報共有を行う。

第2号報告事項 普及啓発事業（岡山）報告について

普及委員会より12月25日（日）に実施した普及啓発事業（埼玉）について報告があった。参加人数26名、地元の中高生21名、埼玉卓球協会7名、施設職員等の協力もあり無事に実施することができた。参加者へのアンケートも実施した。集計を行い、今後の課題等を検討しながら次回の普及啓発事業につなげたい。

第3号報告事項 オンライン・フィジカルトレーニング講座実施報告について

令和4年度国際大会派遣選手に向け、オンラインによるフィジカルトレーニング指導を始めて実施した。選手からも好評だったこともあり、令和5年度も実施に向けて進めていく。

第4号報告事項 令和5年度スポンサー等について

令和4年度スポンサー継続および終了について報告があった。令和5年度の新規スポンサー獲得に向けての進捗状況の報告があった。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後8時30分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第35条第2項に基づき出席者代表理事が次に記名押印する。

令和5年2月20日

一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会 第3回理事会

代表理事 坂井 一也

